

図1 都道府県歯における役員総数と女性役員数

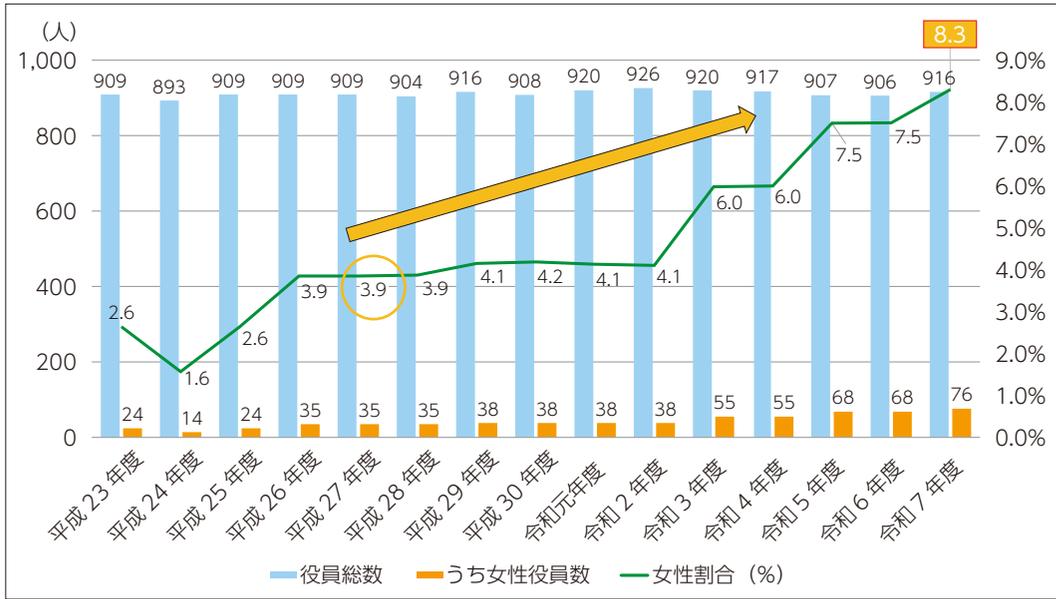


図2 都道府県歯における委員会の正副委員長数ならびに女性正副委員長数

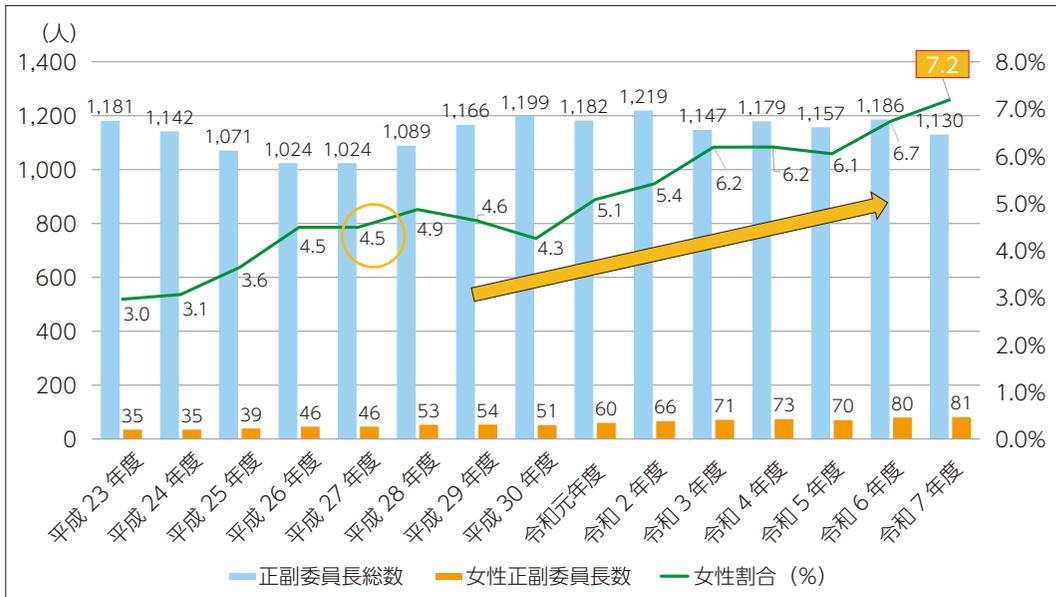


図3 「若い世代の歯科医師を対象とした活動活躍支援」等への取り組み

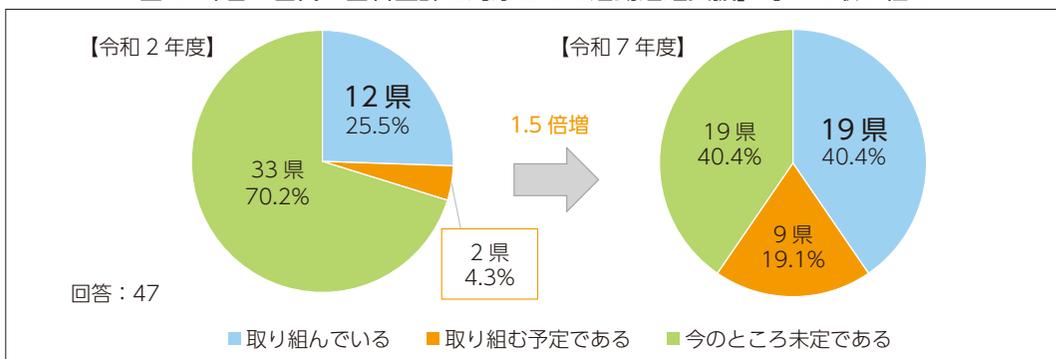


図4 会内に「若手歯科医師の会」や「青年部」等の組織・委員会等の設置



# 女性役員の割合8.3% 若手会員支援が進展

## 令和7年度女性の政策・方針決定参画状況調査

日歯はこのほど、「令和7年度女性の政策・方針決定参画状況等に関する調査」の結果を取りまとめた。

本調査は、内閣府男女共同参画局からの依頼を受け、第5次男女共同参画基本計画等に基づき実施される「政策・方針決定参画状況に関する調査」として、その一環として実施している。

調査結果は、定年調査している「役員総数と女性役員数」(図1)、「委員会委員総数と女性委員数」、「委員会と女性が在籍する委員会数」、「委員会正副委員長数」(図2)について、女性の役員・

委員・正副委員長や女性が在籍する委員会数の割合が過去最高となった。特に、役員総数に対する女性役員数の割合は8.3%で、10年前(平成27年度)の3.9%から4.4ポイント増した。

一方、女性会員向けの会員種別の設置(2県)、会内に「女性歯科医師支援」や「男女共同参画推進」に関する組織・委員会等の設置(16県)など、大きな変化が見られない取り組みもあった。

若手会員支援などについて、各歯科医師会の取り組みに大きな進展が見られた。若い世代の歯科医師を対象とした活動活躍支援に取り組んでいるのは19県で、5年前(令和2年度)の12県から1.5倍増となった(図3)。「取り組み予定である」と9県が回答しており、今後さらに増える見込みである。さらに、歯科医師会内に「若手歯科医師の会」や「青年部」等の組織・委員会などを設置しているのは10県で、5年前の5県から倍増した(図4)。設置予定も3県あり、

取り組みの活発化がうかがえる結果となった。

このように、歯科医師会の中で役員・委員として活動する女性会員増加の期待は高まる一方、女性歯科医師の入会状況の低迷は依然として続いている。令和6年度医師・歯科医師・薬剤師統計によると女性の歯科医師は増加傾向で全体の約27% (4人に1人) を占め、特に20~30代の若年層で男女比が接近している。歯科大学生の女性比率も40%と高くなっており、将来的に歯科医師の男女比が

逆転する可能性も示唆されている。

日歯では、女性歯科医師が歯科医師会に入りやすい、活動しやすいように環境改善を図るべく、今年設置した組織力強化プロジェクトチーム(会員増強タスクチームを改称)において、会員増強・若手活躍支援・女性活躍支援の視点で総合的に議論を進めていく。

調査結果の詳細は、日歯HP・メンバーズルーム内の「厚生・会員」→「女性歯科医師・男女共同参画」に掲載している。